

(様式2)

地域還元施設等整備基本構想（案）に対するご意見と考え方

案件名 地域還元施設等整備基本構想（案）

意見募集期間

平成31年2月4日 から 平成31年2月28日

意見募集の結果

提出方法	募集者人数	意見数
持 参	1	3
郵 送	0	0
F A X	2	10
電子メール	1	2
合 計	4	15

意見の概要及び組合の考え方（順不同）

No.	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方
1	3-2 及び 3-7	白雲荘は近隣の人々が長い年月をかけ生活の一部に取り入れ、多くの人間関係を育ててきた貴重な施設でした。そのことを重視し、一刻も早い施設の再生を求めます。白雲荘の多くの利用者は何年も待っていません。従ってモデル候補地Aの案はありえません。Bのスケジュールでも遅い。白雲荘の取り壊しからすでに1年半が過ぎました。B案でも空白期間が5年になります。もっと急いでいただきたい。	これまで組合議会におきましても2022年度供用開始予定と説明してきており、モデル候補地Bであれば2022年度中の供用開始ができる可能性があります。用地選定については今後も慎重に検討し、新年度に確定したいと考えております。 今後さらに詳細な計画・設計を進めスピード感を持って施設完成に鋭意努力いたします。
2	3-3	利用ニーズでは、利用者の支払い許容料金についての考察が不十分です。料金が高ければ地域の方々は毎日のように利用できなくなります。それでは還元施設の目的が達成されません。白雲荘のような豊かな活用内容を育てられる利用料金での運営シミュレートを求めます。	利用料金につきましては建設・運営費用と合わせて精査する必要があることから、基本計画の中で事業手法の選択と合わせて検討してまいります。 住民アンケートの集計結果やこれまでの白雲荘利用者の方々の声も踏まえ、白雲荘のように永く地元で愛される施設を運営・

			継続していくことができる料金設定を検討してまいります。
3	3-3	白雲荘の利用者は、施設の良かった点として「弁当持参で金を使わずゆっくり1日楽しめる」をあげています。この条件も受け継ぐ価値に該当します。そのことが配慮された利用者ニーズのシミュレーションになっていません。どんなに立派であっても、内容が充実していても、規則が多く、多様な人間関係を許容し、様々な過ごし方を許す場でなくては白雲荘で展開されたような地域のコミュニティーは育めません。	飲食物の持込可能だったことが良かったとの声がある一方で、食堂がないことが不便だったとの意見もありました。また住民アンケートの新しい施設に必要な施設にも食堂・売店はお風呂に次ぐ要望がありました。これらを踏まえ、基本計画の中で検討してまいります。
4	全体	地域還元が目的なので、利用者の声を尊重する。	引き続き地元住民の方に検討委員会委員として参加していただくほか、地域の声に耳をかたむけていくよう努めてまいります。
5	全体	白雲荘の良さであった、地域住民の交流ができるアットホームな施設にする。そのため、料金は従来と変わらず、低料金にし、高齢者や障害者への配慮をする。また食品の持ち込みも認める。	料金及び飲食物持込みについては基本計画の中で検討してまいります。高齢者や障がい者の方々も利用しやすいようバリアフリーの施設を目指します。
6	全体	場所はごみ処理施設に隣接するか近い範囲にする。	地域還元という観点からも、新ごみ処理施設から離れた場所は考えにくいとのことから、敷地内または近隣での検討を行っております。
7	全体	白雲荘は周りの緑化も良かったという声も多いが、新施設も同様に周辺緑化や景観に配慮する。	白雲荘は四季折々の景観が大変好評でしたので、新しい施設につきましても基本計画の中で検討してまいります。
8	全体	高齢者利用を想定し、送迎バスの利用を可能にする。	新ごみ処理施設周辺はバス停からも離れているためアクセスが不便であり、送迎バスの要望は多く寄せられております。運用方法等も含め、基本計画の中で具体的に検討してまいります。

9	全体	バリアフリーに配慮。	高齢者や障がい者の方々も利用しやすいようバリアフリーの施設を目指します。
10	全体	熱還元システムを取り入れ、幅広く焼却熱の活用をはかる。入浴施設の温水利用に焼却熱を利用する。小美玉地区には温水プールがないので、子供から高齢者まで利用できる温水プールを作る。	<p>新ごみ処理施設工事発注時点で還元施設への余熱等の供給については、施設の規模や内容・建設地等が確定しなかったため、全量発電として発注した経緯がございます。また、余熱利用（全量発電）については議会からもご理解をいただいているところであり、事業を進めるにあたって、現時点では全量発電とする方針に変更はございません。</p> <p>施設の機能につきましては、建設費用や運営費用が高くなれば利用料金の設定にも関わります。低廉な料金で利用したいという地元住民の方々の要望と合わせて、基本計画の中で検討してまいります。</p>
11	2-4	高校生の意見にもあるように温水プールがあるとよい。高齢者・ひざがいたい方など多くの人々がそれぞれの目的で利用できると思う。	<p>温浴施設とともに温水プールも要望が多くありましたが、建設費用や運営費用が高くなれば利用料金の設定にも関わります。低廉な料金で利用したいという地元住民の方々の要望と合わせて、基本計画の中で検討してまいります。</p>
12	3-5 及び 3-7	建設場所は費用をおさえ（利用費用も安くできるはず）、かつスピーディーに完成できる場所が良い。	<p>最小の経費で最大の効果を得られるよう検討してまいります。また、今後さらに詳細な計画・設計を進め、スピード感を持って施設完成に鋭意努力いたします。</p>
13	全体	背伸びしすぎない。必要なものだけを充実させる。持続可能な施設を。	住民のニーズのほか、将来的に求められる機能等を整理し、永く愛される施設の建設・運営を目指します。

14	3-2 及び 3-3	<p>施設設置場所について</p> <p>ごみ処理施設を基本に考えると、還元施設は歩いて行くことができる人は限られるので、送迎バスなどの配置や、駐車場なども配慮すべきこと。</p>	<p>新ごみ処理施設周辺はバス停からも離れているためアクセスが不便であり、送迎バスの要望は多く寄せられております。</p> <p>運用方法等も含め、基本計画の中で検討してまいります。</p>
15	全体	<p>施設と運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用料は 300 円までにしてほしい。 2. 200 人から 300 人が集まり講演や映画会などができる小ホールの設置。 3. グループ（サークル）活動ができる場の保障。 4. 市民が利用できる調理室の確保（高齢化が進む中、レストランでの食事代は負担（お金）が大変になってきているので、持参したものが温められ、食べられるような設備と場所が欲しい） 5. 管理運営には障がい者の参加できるよう、活躍できる場となること。設備のバリアフリー化の徹底。 6. 高齢者から子どもまで、楽しめるプールの設置。 	<p>(1)</p> <p>利用料金につきましては基本計画の中で事業手法の選択と合わせて検討してまいります。</p> <p>(2・3・6)</p> <p>施設の機能につきましては、建設費用や運営費用が高くなれば利用料金の設定にも関わります。低廉な料金で利用したいという地元住民の方々の要望と合わせて、基本計画の中で検討してまいります。</p> <p>(4)</p> <p>飲食物の持込可能だったことが良かったとの声がある一方で、食堂がないことが不便だったとの意見もありました。また住民アンケートの新しい施設に必要な施設にも食堂・売店はお風呂に次ぐ要望がありました。これらを踏まえ、基本計画の中で検討してまいります。</p> <p>(5)</p> <p>高齢者や障がい者の方々も利用しやすいようバリアフリーの施設を目指します。</p>